

浜松市フルーツパークの現状と今後のあり方の検討について

<検討の経緯>

浜松市フルーツパークは、農業が盛んな土地柄を反映し、果実をはじめとする地域の農産物に親しみ理解を深める場として平成8年に開園した。

平成25年度からは指定管理者制度を導入し、民間企業のノウハウやアイデアを活かした施設運営を行うことで施設の活性化を図っているが、開園から25年以上が経過し、施設の老朽化が顕著であると共に、利用者のニーズも変化していることから、来園者数は減少傾向にある。

そこで、当施設の現状を把握し、課題を整理するとともに、ニーズに対し、今後考えられる取り組みについて示した。



<施設の課題と利用者の要望>

現状分析とアンケートにより、課題及び利用者要望を次のとおり整理した。

(1) 農業振興機能についての課題

フルーツパークは農業振興を目的として設置された施設であるが、現状、レクリエーション施設としての性質が強い。施設の設置目的である農業振興施設としての機能を高め、他施設との差別化を図るとともに体験を通じて農業に親しむ機会を提供することが、入園者を増加させ、リピーターを獲得するためには必要である。

(2) 施設・設備面の課題

- ① 施設全体の高低差（階段や坂などによる周遊のしにくさ）
- ② バリアフリー非対応部分や移動手段、園内標示など（洋式トイレの不足、園内移動手段(トレイン)の待合不足や便の間隔による利用のしにくさ、標識の分かりにくさなど）
- ③ 施設全体の老朽化

(3) 果樹・植栽の課題

- ① 果樹の老木化と収穫量の低減
- ② 収穫体験ができる時期の偏り
- ③ 収穫体験の人気の偏り

(4) 交通アクセスについての課題

フルーツパークは新東名高速道路の浜松SAスマートICに近接しており、高速道路を利用しての入園者が期待できるが、入園者アンケートではアクセスが分かりにくいとの意見も見られる。

(5) リピーターの確保及び新規来園者獲得のための課題

開園後25年を超過し、提供するサービスや設備が時代のニーズに合致しなくなっていることに加え、マンネリ化している。リピーターの確保と新規来園者獲得のため、これまでにない新たな試みや、時代のニーズに即した取組が求められている。

(6) 利用者の要望

- ① 果物狩りの充実
- ② 遊具の充実
- ③ 飲食施設の充実

<考えられる取り組み(案)>

※【新】…新規【改】…リニューアル

① 農業に触れる

フルーツパークの設置目的である「果実をはじめとする地域の農産物に親しみ、理解を深めることのできる場」としての機能を高め、他施設との差別化を図ると共に、農作業体験や果物狩り、各種講座などを通じて、農業に親しむ機会を提供する。

- ・【改】果樹の計画的入れ替えによるフルーツ狩りの充実
- ・【改】農業講座の充実
- ・【新】果物を中心とした農作物の情報発信施設の整備



② 農業を深める

地域の農業者の技術の向上・伝承のための各種取り組みや、先端技術の活用、6次産業やブランド化による付加価値づくりなど、地域農業の振興に貢献する。

- ・【新】スマート農業実証圃場としての活用（機器の展示と実演）
- ・【改】農業研修の受入
- ・【改】6次産業化のための商品開発棟の設置



③ 賑わいを生む

フルーツパークが、たくさんの人が訪れ、憩い、楽しむ場所となるよう、レクリエーション機能の充実を図る。

- ・【改】展望レストハウスの改修
- ・【改】トロピカルドームの改修
- ・【新】ネオパーサ浜松への情報ブースの設置



④ 快適さを高める

多様な世代が来訪し、快適に過ごすことができる空間を提供するため、施設のユニバーサルデザイン化や安全確保、利便性の向上を図る。

- ・【改】園内を回遊しやすくなる動線作り
- ・【改】ユニバーサルデザイン化(段差解消やトイレ洋式化など)
- ・【改】遊具の安全性の確保と適切な更新・【新】休憩スペース設置
- ・【改】季節感を演出する樹木植栽
- ・【改】看板・表示の改修
- ・【新】新東名浜松SAスマートICからの誘導看板設置
- ・【新】入園口等でのキャッシュレス決済導入
- ・【改】老朽化した設備の更新・修繕（施設保全計画の作成）



⑤ 地域と繋がる

地域住民、農業者、企業、教育機関等と連携し、地域に愛され、地域と共に成長するフルーツパークを目指す。

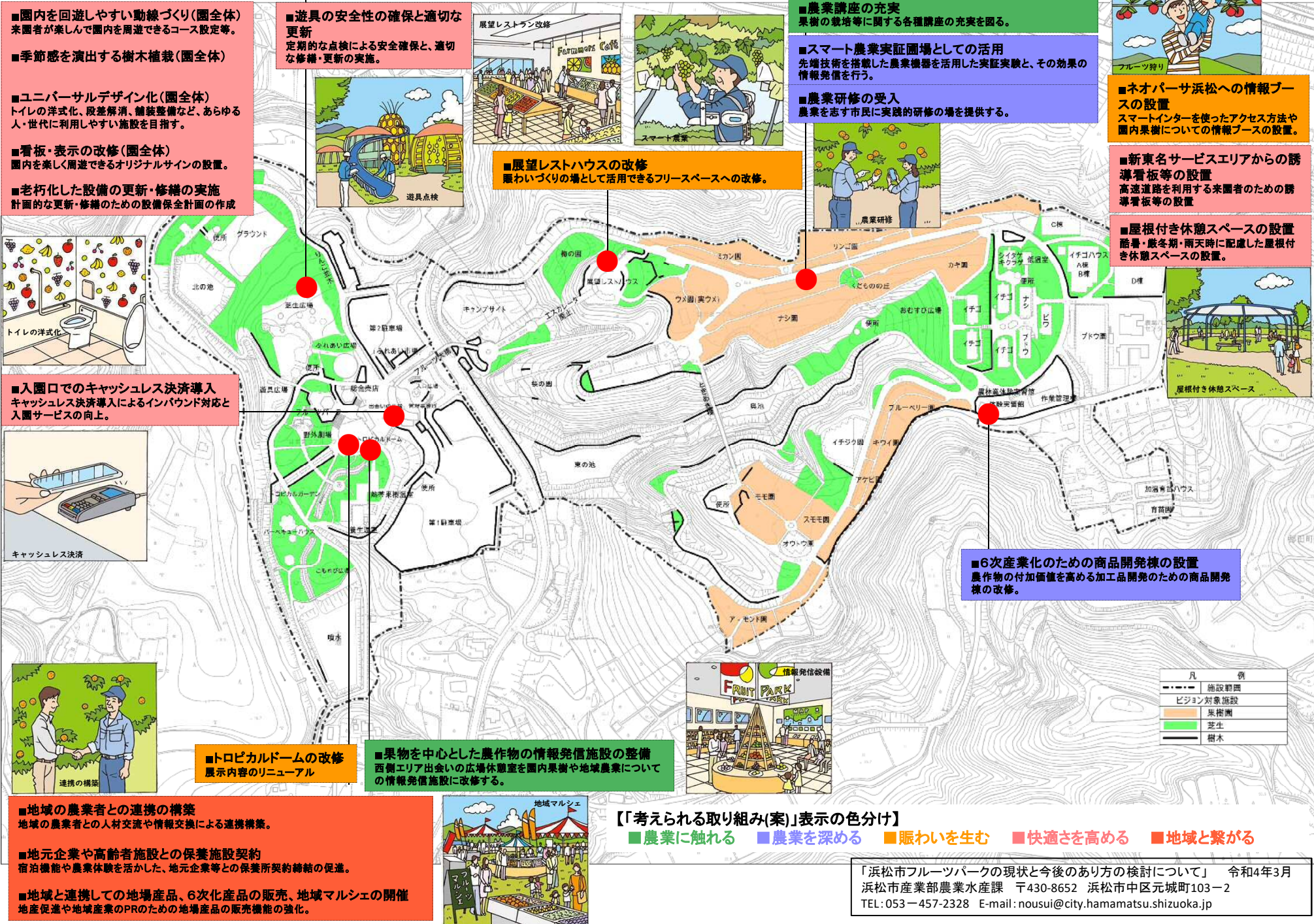
- ・【改】地域の農業者との連携の構築（人材交流や情報交換）
- ・【新】企業や高齢者施設、学校等との保養施設契約の促進
- ・【改】地域と連携しての地場産品・6次化産品の販売、地域マルシェ



<指定管理者との協働>

フルーツパークは、指定管理者制度により施設を運営していることから、施設の核となる農業振興機能の充実や施設基盤の整備については市が実施し、トレンドを意識した集客の取り組みは、民間企業のノウハウやアイデアを活かして指定管理者が実施している。今後も、市と指定管理者が協働することにより、より一層の施設の魅力創出と向上に取り組んでいく。

<考えられる取り組み(案)イメージ図>



■園内を回遊しやすい動線づくり(園全体)
来園者が楽しんで園内を周遊できるコース設定等。

■季節感を演出する樹木植栽(園全体)

■ユニバーサルデザイン化(園全体)
トイレの洋式化、段差解消、舗装整備など、あらゆる人・世代に利用しやすい施設を目指す。

■看板・表示の改修(園全体)
園内を楽しく周遊できるオリジナルサインの設置。

■老朽化した設備の更新・修繕の実施
計画的な更新・修繕のための設備保全計画の作成

■遊具の安全性の確保と適切な更新
定期的な点検による安全確保と、適切な修繕・更新の実施。

展望レストラン改修
スマート農業

■展望レストハウスの改修
賑わいづくりの場として活用できるフリースペースへの改修。

■農業講座の充実
果樹の栽培等に関する各種講座の充実を図る。

■スマート農業実証圃場としての活用
先端技術を搭載した農業機器を活用した実証実験と、その効果の情報発信を行う。

■農業研修の受入
農業を志す市民に実践的研修の場を提供する。

■新東名サービスエリアからの誘導看板等の設置
高速道路を利用する来園者のための誘導看板等の設置

■屋根付き休憩スペースの設置
酷暑・厳冬期・雨天時に配慮した屋根付き休憩スペースの設置。

■6次産業化のための商品開発棟の設置
農作物の付加価値を高める加工品開発のための商品開発棟の改修。

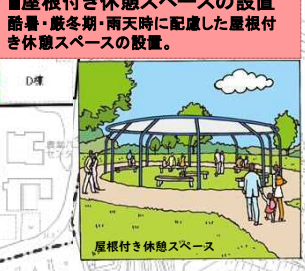
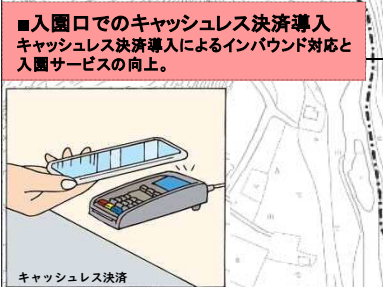
■トロピカルドームの改修
展示内容のリニューアル

■果物を中心とした農作物の情報発信施設の整備
西側エリア出合いの広場休憩室を園内果樹や地域農業についての情報発信施設に改修する。

■地域の農業者との連携の構築
地域の農業者との人材交流や情報交換による連携構築。

■地元企業や高齢者施設との保養施設契約
宿泊機能や農業体験を活かした、地元企業等との保養所契約締結の促進。

■地域と連携しての地場産品、6次化製品の販売、地域マルシェの開催
地産促進や地域産業のPRのための地場産品の販売機能の強化。



凡	例
---	施設範囲
---	ビジョン対象施設
■	果樹園
■	芝生
■	樹木

【「考えられる取り組み(案)」表示の色分け】

■農業に触れる ■農業を深める ■賑わいを生む ■快適さを高める ■地域と繋がる

「浜松市フルーツパークの現状と今後のあり方の検討について」 令和4年3月
浜松市産業部農業水産課 〒430-8652 浜松市中区元城町103-2
TEL: 053-457-2328 E-mail: nousui@city.hamamatsu.shizuoka.jp